

歴史民俗資料館だより 平成 26 年(2014)年度

～ No. 5 ～ 3 月号 ～

あっという間に弥生に突入、寒いなかにも少しだけ春の気配が感じられる軽井沢です。

先月は雪が降る中、町内外 3 小学校の 3 年生約 200 人が社会科見学に来てくれました！資料館などの博物館施設に来るのは初めてという子が多かったようですが、授業で昔の暮らしを勉強中とのことで、特に民具の展示室では囲炉裏や石臼、氷冷蔵庫に洗濯板、わらじや農具など、昭和に使用されていた道具類を熱心にメモしながら見学していました。キラキラした表情で元気いっぱい質問をしてくれる姿がとても可愛らしく、職員も元気をもらいました。

資料館では学校の見学も常時受付けていますので、見学希望の場合はご連絡下さい。

～ No.4 ～ 2 月号 ～

大寒も過ぎ、早くも如月となりました。

冬の寒さが厳しい軽井沢では、明治中期から昭和初期頃まで天然氷の製造・出荷を行っており、切り出された氷は鉄道で関東地方などに出荷されていました。資料館では、氷を切り出す時に使用された道具類や写真を展示しています。この他にも、氷に関係する展示品として、地元の人々が昭和 20 年代～30 年代頃に使用した下駄スケートを展示しています。当時は凍った池や田んぼリンク(田んぼに水を張ったもの)で滑っていたようですが、「足がとっても冷たかった！」との経験談です。

下駄スケート経験がある方も、ない方も、ぜひ一度見に来て下さい。



～ No.3 ～ 2015 年 1 月号 ～

明けましておめでとうございます。

資料館も新たな一年が始まりました。平成 27 年は 4 月 1 日(水)から開館しますので、今年もたくさんの方々のご来館をお待ちしています。

軽井沢にも 12 月の寒波では雪が降りましたが、避暑地として知られている軽井沢の冬は、日中の最高気温が氷点下になる日もあるため、なかなか雪が融けません。毎日防寒グッズが大活躍の寒い日々です。

資料館だより No.1 でも紹介した囲炉裏コーナーには火鉢も展示していますが、社会科見学に来た小学生に、ヒーターなどが一般化する以前には、囲炉裏や火鉢で暖を取ったことを伝えると、驚く姿が見られます。スイッチ一つで火が付く現代は便利ですが、やっぱり寒いものは寒い……まだ年が明けたばかりですが、早く春にならないかなと思う今日この頃です。昔の人たちも、囲炉裏を囲みながら同じような会話をしていたのかも……？



～ No.2 ～ 12 月号 ～

紅葉していた葉っぱも落ち、すっかり冬になった軽井沢です。浅間山にはもう雪が！

資料館は 11 月 17 日(月)から冬期休館となりましたが、休館中にも、平日のみ、10 名以上で入館を受け付けています。学校の社会科見学など、多くの方々に利用していただきたいと思いますので、お気軽にご連絡下さい。

さて、10月末の話になりますが、軽井沢町の姉妹都市であるカナダのウィスラーから、今年も中学生がホームステイにやって来ました。生徒さん達は、毎年町内の様々な場所を見学しますが、その中で、資料館にも来てくれます。軽井沢の歴史を全て説明するには時間が足りませんでした。一つ一つの展示を熱心に見て、質問もしてくれるという意欲的な生徒さん達でした。二階の民具の展示室で見た菅笠が印象に残ったのかどうかは分かりませんが、その後の滞在中には、お土産に菅笠を買う姿も見られたとのこと！今年の冬は、ウィスラーで菅笠が流行るでしょうか？



～ No.1 ～ 11月号 ～ 懐かしさを訪ねる秋～

町内では紅葉も進み、秋が深まっています。秋と言えば、読書の秋、食欲の秋などがありますが、今年は「懐かしさを訪ねる秋」なんていかがでしょうか？トップページでも紹介している通り、資料館では縄文土器から中国陶磁器、中山道の宿場や別荘関係の資料、地元の人々に使用されてきた生活用具などを展示しています。生活用具の展示室には囲炉裏コーナーがあり、懐かしい日本の姿を再現しています。他にも、農具、養蚕道具、機織り機、氷を使用した冷蔵庫、洗濯板、石臼などなど、ちょっと昔の暮らしを支えてきた道具を見ることが出来ます。来館者からは「懐かしい道具があった」「昔使っていた道具があった」という声が聞かれます。また、小学生が社会科の勉強として来館し、驚く姿も見受けられます。若い人達にとっては、逆に新鮮です！歴史民俗資料館と聞くと「なんだか難しそう」「歴史の授業は嫌いだったし」と思いがちですが”歴史を学ぶ”なんて堅苦しさは考えず、みんなで”懐かしさを訪ねに行く”くらいの軽い気持ちでお越しください。意外と楽しめますよ。



2024.12.17 再編集日時